



文京区青少年プラザ

b-lab通信 第18号



(みちのりをおもてかかるおひろしみこんだぞえまたくなつて)
 フェスの後に中高生スタッフが活動を振り返って語り合つ姿が、私は好きです。
 ここは自分ないけんだけどう想いと声はこれからも重なっていくのでしょうか。



道のりを想つて語る大広間
染み込んだ声 また濃くなつて

b-lab通信とは? 2015年4月1日にオープンした区内初の中高生向け施設「b-lab」の運営や、活動をお知らせするため、区内の中学校及び高等学校等の教員の皆様に向けて発信する報告書です。本年度より隔月配布しております。

■第8期中高生スタッフ活動開始!

b-labでは第8期中高生スタッフの活動がスタートしました。中1から高3までの計36名がb-labを盛り上げようと、さまざまな形で活動してくれています。

1/29(日)には、中高生スタッフとして活動するb-labのジャズバンド“BAZZ”とダンス部“b-st crew”、バンドの“You am I”が文京区青少年委員会主催「第23回コミュニティプラザ～演じて奏でるあなたが主役～」に出演しました。b-labを中心に活動するチームが、こうして館外へと飛び出して活躍する姿を見るのは、わたしたちスタッフにとっても、とても嬉しいことです。これからの中高生スタッフの活躍が楽しみです。

<http://b-lab.tokyo/>

ピーラボ 文京区 検索

1.b-labからのお知らせ

●3/31 春フェス開催決定!

2016年度も終わりに差し掛かり、b-labにやってくる中高生も来年度の進級進学を意識しはじめた様子です。

b-labでは1年のしめくくりに今年も春フェスを開催します。第8期中高生スタッフも春フェスに向けて準備をスタートしました。30日の前夜祭では中高生にプレゼンの機会を提供する『b-labアワード』や『ピンポイントプレゼン』を開催、春フェス当日の31日には恒例の中高生ライブに加え、冬フェスで好評だった脱出ゲームなどが企画されています。春フェスはどなたでもご自由にご覧いただけます。先生方のご来館もお待ちしています!

【b-lab前夜祭:3/30 春フェス:3/31】

2. b-labスタッフ紹介



とも/瀬川知孝

**b-lab通信で毎号短歌を詠んでいるのはこの人!
国語から音楽まで、さまざまな事業を担当しています。**

はじめまして。b-lab職員の瀬川です。私は以前、都内の私立高校で国語の講師をしていました。b-labという学外の放課後施設に身を移し、今は「中高生の自主的な活動を支援すること」が仕事の中心になりました。

b-labには「中高生スタッフ」がいます。彼らの仕事は、「自分がやってみたいことを形にする」ことです。ダンスチームを組んでステージに立つ、江戸時代について調べてたくさんの人の前で発表する、自分の好きな小説で読書会をする。今年度も、たくさんの「やってみたい」が実現するのを見ることができました。好きだからといって、実際に行動を起こすのは骨が折れるものです。そんな中高生スタッフに寄り添い、話を聞き、背中を押すことが私たちの大切な役割だと考えています。自らの興味関心を携えて行動すること、それをやりきるまでの過程に、たくさん学びがあるはずです。やりたいことを実現するまでに何を学んだのか、どんなことに気づいたのか。それを言語化する手伝いをするのもまた、ここにいる大人の仕事です。

その他にも音楽や図書に関わる事業を受け持っているのですが、この「b-lab通信」に載せる短歌を詠むのも、私にとって大切で楽しい仕事の一つです。

3. イベントレポート

2016/12/26、27の冬フェスで開催されたイベントをご紹介します!

■「いろんな進路×カタリ場」

ゲストに哲学者と一緒に話を交えて「幸せってなんだろう?」を問う2時間。幸せの中に満足があるのか、満足の中に幸せがあるのか、そんなことを考える濃密な時間となりました。

○中高生の感想

幸せと自己満足はけっこ違う。頭がパンクしそうになるくらい難しかった。
【高2男子】

■「グラフィティアート講座」

ストリートアーティストの《wood》さんをお招きして、b-lab初となるグラフィティアート講座を開催。サインの描き方、ブロックレターの描き方などを教えてもらい、各々の作品を仕上げました。

■「アソビ場～アニメーションとプリンセスについて」

ディズニー・アニメーションのプリンセスを順に追ってみると、時代とともにプリンセスの在り方が変化していることに気づきます。プリンセスの変遷によって女性観や世相の変化が見えてくると思うと、アニメーションの見方も変わってきますね。

○中高生の感想

ディズニーのヒロインの変わりようが時代を通してみるとこんなにはっきりわかるなんておどろいた。
【高2男子】

■「本の処方箋」

中高生に問診表を書いてもらい、その内容に応じてお勧めの本を処方するのが、この「本の処方箋」。b-labでは「マイ本棚」という各スタッフのセレクトした本を集めたBOXを設けており、今回はその本棚を中心にたくさんの本を用意して、自分の好きな作品を紹介したり、探しあったりしました。

○中高生の感想

コミュニケーションについて問診表を書きました。いつもだったら絶対読まないような本をすすめられて戸惑ったけど、読んでみようかなと思います。
【中2男子】

▶本の処方箋



▶ピンポイントプレゼン



▶模型部展示



▶中高生冬フェスライブ!

■「おいしいODN(おでん)」

寒い冬にはやっぱりおでんが欠かせません! 今回はイベントに参加したり、フロアキャストと呼ばれるボランティアスタッフが企画するミニゲームに戦いを挑み、勝ったらもらえる「ODNチケット」制を採用。館内のいろいろな場所でフロアキャストに勝負を挑む中高生の姿が見られました。

■「リアル脱出ゲーム～廃校からの脱出～」

中高生スタッフ「なぞらぼ」によるリアル脱出ゲーム。いつものスタジオが今から100年後の2116年の廃校につながっていた...!というコンセプトで作りこまれたこのゲーム。難問過ぎて時間内に脱出できたチームはいなかったとか...。

■模型部による「模型展示」

もうひとつのスタジオでは第7期中高生スタッフ「模型部」メンバーによる展示を開催。ただ模型を展示するだけでなく、照明やBGMにもこだわり作り上げられた世界観も楽しめました。

■「ピンポイントプレゼン」

事前にb-lab館内でプレゼンしてくれる中高生を募集したところ、想定よりも多くの応募があったと、スタッフとして関わっていた高校生が喜んでいました。最終的にはスタッフも含め計10名によるプレゼンが繰り広げられました。来館する、イベントに来る、参加する、イベントをつくるという、さまざまな関わり方があり、ステップをふんで挑戦できるのがb-labのよいところです。

○中高生の感想

自分の好きなことをテーマに話すということもあって、みんなの「伝えたい」という思いが伝わり、聞きごたえがありました。

■「中高生冬フェスライブ!」

はじめてb-labでライブするバンドもたくさん出演してくれました。中高生スタッフが提案して導入されたスピーカーを使ってのライブとなった今回、当日の音響と照明を中高生スタッフが担当し、会場のレイアウトも中高生が考へるという、参加するだけではない、自分たちでつくるライブが実現しました。

4. 施設活用事例

中高生のホール活用事例をご紹介します!

b-labには予約利用できる施設があります。それが大小2つの音楽スタジオと120名を定員とするホールです。中高生は事前にユニット登録をすることで、これらの施設を貸切って自分たちだけで利用することができます。(平日の午前中に限り、一般枠として文京区在住在学の方にも貸出しをしています)

ホールはダンスや演劇の練習のために予約されることが多く、演劇部の公演に利用されたこともあります。中には午前中にキッチンでケーキを作り、午後から予約したホールで友だちの誕生日を祝うサプライズパーティを開く中高生もいて、その活用は多岐にわたります。先日はある学校のクラスメートが勢ぞろいしてクラス会を開催していました。さまざまな形で活用されているホール、先生方にもご活用いただけないと嬉しいです。

5. b-labへ行く



住所:文京区湯島四丁目7番10号

アクセス:大江戸線「本郷三丁目駅」から徒歩8分、丸ノ内線「本郷三丁目駅」から徒歩10分

編集後記

3月にはb-labのフリーペーパー『ChalChalChal vol.7』の発行が控えています。今はフリーペーパー制作を担当する中高生スタッフ3名が最終チェックに励んでいるところです。今号は区立小学校の6年生にも配布されるb-lab紹介特集号となっています。b-labで中高生がどのように過ごしているのか垣間見れる内容となっていますのでぜひご覧ください!

また文京区内の学校や部活動、様々な活動に取り組む中高生を紹介する『High School Adventure』という企画では、取材させてくれる学校を募集しています。お気軽にお問い合わせください。



詳しくは b-lab 公式 Web サイトへ
<http://b-lab.tokyo/>